感動を共有する美術鑑賞講座

ある日、一人の芸大生がJASSを訪ねて来てくれました。美術鑑賞会の企画が書かれた自作のチラシを持参して、是非この企画をJASSでやってみたいと熱心に話してくれたのが、喜田小百合さんです。美術を観賞する前に、作家のことや作品の背景、鑑賞の仕方などを共に学び、さらに鑑賞後はお互いに感想を述べ合うというものでした。

彼女の知識の豊富さは勿論のこと、人生経験豊富なシニアならではの鑑賞の仕方や感想も共有したいという喜田さんの発想力に感心して、その場で「やってみましょう」と言う返事をしました。

これまでにない企画ですが、JASSも今までに 培ってきたものに色々な発想や人材を加えて、さ らに新しい分野の開拓も必要だと思っていた矢先 でした。こういう若い方の柔軟なアイディアを採 用するというのも、その道を探る一つではないで しょうか。

まずは、喜田さんが提案してくれた「シニア・ミュージアム・カレッジ」には20名の応募を頂きました。この会の様子は後日ご報告させて頂きたいと思います。

ここに喜田小百合さんの企画内容とプロフィルをご紹介させて頂きます。今後ともJASSで大いに活躍して頂ければと願っております。JASS会員の皆様も、これから羽ばたかんとする若い講師の応援を宜しくお願い致します。

(イベント NO. 304) 記 事務局水越征雄

「シニア・ミュージアム・カレッジ」への思い

シニアという言葉には二つの意味があります。 一つは「定年退職した人」、もう一つは「上級者」。 「シニア・ミュージアム・カレッジ」(以下SMC) の狙いは、シニアの方にとって分かりやすい解説 を提供するだけでなく、ワンランク上の美術鑑賞 術を目指し、美術の裾野を広げることもあります。 芸大美術館の来館者の一番の層は、やはりシニアの方たち。美術と社会をつなげることが芸術学を学ぶ私の将来の夢なので、以前からシニアの方たちに向けて何か活動をしたいと漠然と考えていましたが、JASSに企画を見ていただき、本当に運良くお話しができて、あらためて、特に時間の余裕と人生経験のあるシニアの方こそ、美術について知っていただき、そして、より豊かな人生を送っていただくべきだと、強く確信しました。

SMCでは、「教える」「教わる」の関係ではなく、皆で「みる」「かんがえる」「はなす」「きく」「しる」を通して感動を共有します。「参加者の見方に触発され、ひとりで見るよりずっと面白く、深く味わうことができた」「自分では気づかない皆の意見が参考になった」と言うのは、実際に参加していただいたシニアの方のアンケートの感想です。私からは大学で学んだ見識をもとに、ちょっぴり専門的でフレッシュな見方のヒントを提供しますので、その代わりに、どうぞ皆さまの豊かな人生経験から生まれた深みのある洞察を、そして、これまでの人生を私にも教えて下さい。今回の企画が「美術と社会つなげる」という私の夢につながり、また、皆さまの有意義な時間をつくりだす手助けとなることを願います。



記 講師 喜田小百合

<喜田さんプロフィル>

1988年10月京都生まれ

中学一年から絵画の実技経験を積み、

現在、東京芸術大学美術学部美術史専攻 4 年生 研究対象は、近代西洋絵画、日本画、仏像、

研究対象は、近代四洋絵画、日本画、仏像、 東洋陶磁器、現代アート、建築と多岐にわたる 美術関係の文筆家を目指し日々修行中

花のある生活

今から20年ほど前、東京のオフィス街でOLを しながら、時折頼まれて会長室や会議室などにお 花を生ける仕事をしていました。その頃は経済情 勢が今ほど厳しくはなかったので、大変楽しく四 季折々のお花を生けさせて頂きながら、沢山の有 難うを頂きました。

私のお花の師匠から、「たった一本の花だけでも生活の空間に置いておくこと忘れない様に」と言葉を頂いたのを覚えています。結婚した当初、最初はそのくらいなら・・・なんて思いながら、気が付くとお花のない暮らしを続けてしまっているのにふと気が付きました。皆さんは、日々の生活に追われたり、気持ちのゆとりを忘れたり、色々なストレスにさらされた事はありませんか?

縁あって生涯学習講座の講師をする様になって、皆さんの様子を見ていると、自分の趣味を見つけておく事が大事だとつくづく感じます。黙々と自分のペースでしっかり好きな事を楽しむ時間を持つことで、心のゆとりも生まれ、お洒落をして外に出るきっかけにもなることでしょう。最初は知らない人同士でも、同じ趣味仲間だとお喋りが広がる事もあります。

こちらのイベント企画においても、初心者から 経験者まで、プリザーブドフラワーの華やかなア レンジメントを楽しめる内容を毎回提案して参り ます。お花が好きな方ならどなたでも楽しめる内 容で、その日のうちにお持ち帰り頂けます。男性 の方も参加可能です。

プリザーブドとは、保存するという意味があります。長時間保存するため加工を施した花で、生花のように瑞々しく柔らかです。水が無くても美しく長持ちします。結婚式のブーケや、お部屋のインテリア等のプレゼントにも最適です。大切な日に、大切な人に、心からの贈り物になると思います。世界に一つしかない作品を作ってみませんか。 (イベントNO. 102·103·104)



記 講師 竹内佐江子

編み物教室〜糸あそび

子供の頃から編み物が好きで、手袋やマフラーや靴下を作っていましたが、どこか不恰好で思い通りに出来なかった想い出があります。会社生活を始めたころに機械編みを習いに通いましたが、遊ぶ方が忙しくて身が入りませんでした。5年後に会社を辞めて、さて、何をしようかと色々と首を突っ込んでみたのですが、やはり「編み物」に戻ってきました。どうせやるなら資格をとって将来仕事に出来ればと今に至って、40数年が経っております。

今は糸メーカーも新しい糸の開発に力を入れていて楽しみが増しています。これだけ長く編み物に携わっていても飽きることがなく、益々興味が広がり「奥の深い」ことを実感しております。

同じ糸を使っても粗い編み目と細かい編み目とでは感じが違い、模様編みではまた違い、別の糸を組み合わせれば全く違う感じになります。一本の糸から編地を作りながら形を作っていくという洋裁では出来ない技です。好きな糸の組み合わせ、色の組み合わせを楽しみ"糸あそび"をご一緒しましょう。尚、初心者の方々も大歓迎です。押入れで眠っている糸がおありでしたら息を吹きかけてあげましょう。(イベントNO. 42・43・44)



記 講師 土屋典子